

介護職員初任者研修 シラバス

科目番号 科目名	項目	到達目標	履修 時間
1. 職務の理解	(1)多様なサービスの理解	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援や利用者の尊厳を保つことを重視した、介護観の形成を図る。 ・介護の仕事を行う上で、自らが目指すキャリアパスについて具体的にイメージできる。 ・介護保険制度を担う一員として知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れを把握する。 ・介護保険制度は利用者の生活を支援するための制度であることを理解する。 ・介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し、理解できる。 	6
	(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解		
2. 介護における尊厳の保持・自立支援	(1)人権と尊厳を支える介護	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職は、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点を理解する。 	9
	(2)自立に向けた介護		
3. 介護の基本	(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性を理解する。 ・職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解する。 	6
	(2)介護職の職業倫理		
	(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント		
	(4)介護職の安全		
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	(1)介護保険制度	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉サービスを理解する。 ・個人の権利を守る制度の内容を把握し、利用者が不利益を受ける事態を回避できるよう、他職種に情報提供する重要性を理解する。 	9
	(2)医療との連携とリハビリテーション		
	(3)障害者自立支援制度およびその他制度		
5. 介護におけるコミュニケーション技術	(1)介護におけるコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・傾聴、受容、共感的態度という対人援助専門職の基本となるコミュニケーションスキルを習得する。 ・記録の機能と重要性を理解する。 	6
	(2)介護におけるチームのコミュニケーション		
6. 老化の理解	(1)老化に伴うこころとからだの変化と日常	<ul style="list-style-type: none"> ・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的側面から理解する。 ・生活習慣病について、その症状や特徴および治療・生活上の留意点を理解する。 	6
	(2)高齢者と健康		
7. 認知症の理解	(1)認知症を取り巻く状況	<ul style="list-style-type: none"> ・介護において認知症を理解することの重要性に気づき、認知症の利用者を介護するときの判断の基準となる原則を理解する。 ・認知症のケア方法や家族への支援方法について理解する。 	6
	(2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理		
	(3)認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活		
	(4)家族への支援		
8. 障害の理解	(1)障害の基礎的理	<ul style="list-style-type: none"> ・ICFを理解し、障がいへの理解を深める。 ・障がいが発生することで、生活に支障をきたすため、生活支援を行う介護職には障がいの医学的理解も必要となる事を理解する。 	3
	(2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識		
	(3)家族の心理、かかわり支援の理解		

	I 基礎知識の学習			
	(1)介護の基本的な考え方		10	
	(2)介護に関するところのしくみの基礎的理解	・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得する。		
	(3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解			
	I 基礎知識の学習			
	(4)生活と家事	・家事援助の機能と基本的原則について理解する。	54	
	(5)快適な居住環境整備と介護	・利用者の身体状況に合わせた介護、環境整備について理解する。		
	(6)整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・整容の意義と目的を理解する。 ・整容に関しての知識と技術を身につける。		
	(7)移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・社会参加の重要性を理解する。 ・車いす操作を学ぶ。 ・移動、移乗の方法を学び、身につける。 ・歩行介助の方法を学ぶ。 ・安心、安全、安楽に配慮した技術を身につけることができる。 ・視覚障がい者の介助方法を学ぶ。		
9. ところとからだのしくみと生活支援技術	(8)食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・食事の必要性和関連したところとからだのしくみを理解する。 ・食事をおいしく安全に食べられるよう支援できる。 ・経管栄養について理解できる。		
	(9)入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・入浴、清潔保持がもたらす心身への影響を理解する。 ・安全な入浴、清潔保持の技術を身につける。		
	(10)排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・排泄に関連したところとからだのしくみを理解する。 ・安心、安全、安楽に配慮した技術を身につけることができる。 ・利用者の尊厳を守りながら、利用者が気持ちよくすっきりと排泄できるよう支援することができる。		
	(11)睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・睡眠の及ぼす心身への影響を学ぶ。 ・安眠を支援するための知識と技術を身につける。 ・起居動作を学ぶ。(根拠に基づく体の動きを学ぶ)		
	(12)死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	・死に向かう生の充実と尊厳のある死について考え、支援することができる。 ・他者の死生観、自己の死生観を受容し、ターミナルを考えることができる。		
		II 生活支援技術の講義・演習		
	(13)介護過程の基礎的理解	・介護過程の必要性や重要性を理解する。		18
	(14)総合生活支援技術演習			
10. 振り返り	(1)振り返り	・就業後も自己覚知を継続して行う必要性を理解する。 ・研修全体を振り返り学んだことを再確認し、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢を形成する。	9	
	(2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修			